



高尾森林ふれあい推進センターでは、森林とふれあいたいという国民や教育機関等の要請に応えるため、様々な活動を行っています。  
今回は、今年度春期に実施した活動等を紹介します。

**【森林カレッジ】**

今年度第1回目の森林カレッジを、一般公募したカレッジ生34名の参加を得て5月28日に実施しました。講師に一般社団法人森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武先生を招いて「森林の見方」というテーマで、午前中は森林のもつ多面的機能や日



森林カレッジ（講義）

本の森林植生の話から森を守るにはどうすればいいのか等幅広く丁寧に解説して頂きました。

午後は、高尾山に登りながら樹木の特徴や森林土壌の構造、人工林の育て方などについて解説して頂きました。当日は天気にも恵まれ、カレッジ生からは多くの質問等があり予定していた山頂まで登れませんでした。「森林に対しての興味がすごくわいた」「様々な角度から森林を見ることができた」「今後も林業について学びたい」等の感想を頂き、第1回目の森林カレッジは高評価を得て終了しました。



森林カレッジ（実習）

**【依頼イベント】**

教育機関からの森林教室の依頼についてはその都度受け付けています。が、春期は4月15日に中央区立佃島小学校5年生94名、5月19日から20日にかけて横浜市立谷本小学校6年

生82名、5月24日に昭島市立拝島第三小学校5年生90名の依頼がありました。



森林教室（森林観察）

佃島小学校と拝島第三小学校は、表高尾の小平地区にある森林ふれあい館を利用して、森林や林業についての講義や丸太切り、森林観察などを体験しました。谷本小学校は、今回参加した生徒たちが5年生の時に準備した竹を使った竹炭づくり体験を主体に森林散策や丸太切りなどを行いました。各校とも森林散策では森林の中に入るのを怖がっていた生徒もいましたが、森林散策後は「楽しかった」「もっと歩きたかった」等の声があちらこちらで聞こえていました。

こうした学校関係のイベントは、参加人数が多いため、フォレストサポートスタッフの協力も得ながら対

応しています。フォレストサポートスタッフの皆さんには、子供達の安全を守るだけでなく、植物の解説や丸太切りの指導など森林教室の実施に積極的に関わって頂いています。

**【協定イベント】**

当センターでは、関東森林管理局長と森林ボランティア団体が協定を締結して森林ふれあい推進事業を行う協定イベントを実施しています。今年度は森林インストラクター東京会、森とでんえん倶楽部、DAIGOエコロジャー村、高尾パークボランティア会、森と人のネットワークの5団体と協定を締結しました。それぞれが創意工夫に富んだイベントの開催を予定しており、今年度は、5団体で年間40回を超えるイベントを予定しています。



炭焼き体験